

おこめ学新聞

発行元

栄西小学校
5-1
小林日向子

音響栽培について

音楽を聴いて育ったお米♪

皆さんは、「音響栽培（おんきようさいばい）」という栽培方法を知っていますか？音響栽培とは、植物の中にある水分に音波の振動を使って刺激を与え、光合成を促進させる栽培方法だそうです。なかでも高



音響栽培で育てたお米（浜松パワフルフード出典）

周波が植物の成長促進により効果が期待されることから、じゅんちゃんファームでは400ヘルツを超える高周波の楽曲が多いモーツァルトの楽曲を選曲しているそうです。（じゅんちゃんファーム音楽を聴いて育ったお米「踊ら米か」より引用しました。）どうやってお米たちに、音楽を聴かせるのでしょうか。私の予想は、スピーカーから音楽をながすのではないかと思います。調べてみると、田んぼにスピーカーを設置したりドローンを飛ばして音楽をながしているそうです。では、音響栽培のメリット・デメリットとはなんのでしょうか？次の記事で私の予想も加えて分かりやすくご紹介します。

メリット・デメリットの予想

お米を音響栽培という栽培方法をもちいて育てるときのメリット・デメリットとはなんのでしょうか。私が考えたのは、「通常のお米より甘みなどが高まるのではないか」というメリットと、スピーカーやドローンを飛ばして音楽をながすには、色々と費用がかかるのではないかというデメリットを予想しました。



ドローン（FUKAYA CITY AGRICULTURE TECHNOLOGY出典）

メリット デメリット

調べてみると実際のメリットは、音の振動が植物の光合成を促進させることで

効果（浜松の小松菜農家出典）

鉄分が
普通の小松菜の
3.45倍!

ビタミンCが
普通の小松菜の
1.41倍!

増収効果が期待できることや、音波振動が空気中を伝わることで甘く美味しい野菜が育つことなどが挙げられています。とくに、小松菜などの野菜はビタミンや鉄分などの栄養素が増加することが報告されているそうです。

デメリットは、効果の科学的根拠がまだ確立されていないことや音源やスピーカーの設置・管理にコストや手間がかかること、などが挙げられるそうです。

音響栽培の 編集後記

最近お米の値段が上がっていて、備蓄米などが売られていたりするそうです。そんな中でも、お米農家さんたちは、消費者に美味しいお米を届けられるように、無農薬でお米を栽培したり音響栽培という栽培方法でお米を育てるなど、いろいろ工夫をされていてとてもありがたいと思いました。これからは、毎回いただきますとごちそうさまに心を込めて言おうと思いました。



読売新聞（「農業の面白さを教えてくれた」出典）